

## 老年看護学概論

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 相馬 一二三 准教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	2	区分・時間数	講義 12時間
期 間	前期		
単 位 数	1単位		

### ・学習方針（講義概要等）

超高齢社会を迎えた現在、高齢者は、生きてきた背景や価値観も異なる。核家族で生活している学生にとって、高齢者を身近な存在として関心を持つことから始めていく必要がある。本科目は、ライフサイクルから見た老年期の特徴を理解し、高齢者にとっての健康および加齢に伴う諸機能の低下が高齢者個々の生活にどのような影響をもたらすかを学び、それを支援していく老年看護の在り方を解説し、高齢者の生活の質の確保に必要な高齢者の人権擁護、倫理的課題や社会保障の現状と課題を学び、老年看護の役割を学ぶ。

### ・教育成果（アウトカム）

高齢者の身体的・精神的・社会的特徴を学ぶことによって、高齢者を全人的に捉えることで高齢者に対して尊重した態度や苦痛の緩和、人権擁護など看護師としての姿勢を理解することができる。また、高齢者は、生活習慣や価値観が個々によって異なり、多様性であることを学ぶことで様々な健康上の課題に気づき、看護実践できる基礎的な知識・技術を身につけることができる。また、高齢者を取り巻く社会制度の成立背景とその目的・役割を学ぶことによって看護師の役割を理解できる。高齢者のQOLの向上につながる支援のあり方を理解できる。また、講義では、高齢者の社会的な問題や看護のあり方などPBLやアクティブラーニングを実施することで、コミュニケーション能力の向上や問題解決能力を身につけることができる。

#### 【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1. 2. 3. 4. 5. 7. 8. 9

### ・到達目標（SBO）

1. 老年期に関する統計的な特徴と将来の推計を学ぶことで将来予測が理解できる。
2. 老年期の身体的・精神的・社会的特徴を学ぶことで高齢者の看護を理解できる。
3. 高齢者の多様性や個々の価値観を理解することでその人らしさを看護することを考えることができる。
4. 高齢者のヘルスプロモーションを学ぶことで多職種との連携の必要性が理解できる。
5. 高齢者看護の倫理的課題を学ぶことで、問題解決能力を身につけることができる。
6. 人生の最終段階にある人の意思決定プロセスの特徴と支援する方法を説明できる。
7. 事例を用いての学習を行うことで問題解決能力やコミュニケーション能力を身につけることができる。

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
4/2	火	2	地域包括ケア講座	相馬 一二三 准教授	<p>超高齢社会の現状と統計的特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 超高齢社会の現状を統計的な特徴から理解できる</li> <li>・ 高齢者に関する統計的な特徴を諸外国と比較して理解できる</li> <li>・ 健康指標から見た高齢者を理解ができる</li> </ul> <p>(平均寿命と健康寿命・有訴者率と通院者率・受療状況など)</p>
4/8	月	3	地域包括ケア講座	相馬 一二三 准教授	<p>老いるということ・老いを生きること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者の多様性が理解できる</li> <li>・ 老年期の発達課題と喪失体験を理解できる</li> <li>・ 高齢者にとってのQOLについてグループワークを行い考えることができる</li> </ul>
4/15	月	2	地域包括ケア講座	相馬 一二三 准教授	<p>高齢者にとっての健康</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者にとっての健康維持・増進について理解できる</li> <li>・ 高齢者の健康目標を理解できる</li> <li>・ 高齢者の健康のアセスメントが理解できる</li> <li>・ 事例を基にPBLを行う</li> </ul>
4/22	月	2	地域包括ケア講座	相馬 一二三 准教授	<p>高齢者の自立を妨げる要因</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 老年症候群、フレイル、サルコペニア、ロコモティブ・シンドロームなど要介護の要因を理解できる</li> <li>・ 事例を基にPBLを実施し介護予防の必要性を理解できる</li> </ul>

5/13	月	2	地域包括ケア講座	相馬 一二三 准教授	<p>超高齢社会と社会保障</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家族構成の変化と高齢者がいる家族の特徴について説明できる</li> <li>・ 要介護高齢者と介護負担について考えることができる</li> <li>・ 介護問題の課題とその解決方法をグループワークによって考えることができる</li> </ul>
5/20	月	2	地域包括ケア講座	相馬 一二三 准教授	<p>加齢に伴う身体的・精神的・社会的特徴と看護のあり方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者の生理的变化を理解できる</li> <li>・ 高齢者の変化を理解し看護のあり方を考えることができる</li> <li>・ 老年看護の自己の目標を挙げ、なぜそれを目標とするのか自分の考えを述べるができる</li> </ul> <p>(レポート課題、次回の講義時に提出)</p>
5/27	月	2	地域包括ケア講座	相馬 一二三 准教授	<p>高齢者看護とチームアプローチ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者のリスクマネジメントについて述べるができる</li> <li>・ 高齢者の身体拘束の是非についてディベートを実施し、自分の考えを述べ、他者の考えを聞くことができる</li> </ul>
6/3	月	2	地域包括ケア講座	相馬 一二三 准教授	<p>エンドオブライフケア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住み慣れた自宅で最期を迎えたい気持ちをeラーニングを通して理解を深めることができる</li> <li>・ 最後までその人らしく生きることを支えるケアとは、どのようなことがグループワークをとおして理解を深めることができる</li> </ul>

・ 教科書・参考書等

教：教科書      参：参考書      推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	ナーシング・グラフィカ 老年看護学(1)高齢者の健康と障害 第5版	堀内ふき他	メディカ出版	2016

推	死にゆく患者とどう話すか	明智龍男・國頭英夫	医学書院	2016
---	--------------	-----------	------	------

・成績評価方法

試験 80%、課題提出 20%により総合的に評価する。

・特記事項・その他

**【事前事後学修の具体的内容及び時間】**

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。

**【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】**

試験の結果に応じて授業時に解説する。また、レポートに関してはコメントを記載し学生に返す。内容に不足があった場合は、個人指導を行う。

**【授業内容】**

グループワークを取り入れ、伝える能力の強化を図ります。

事例を基にグループで話し合い、問題解決能力とコミュニケーション能力を身につけます。

**【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】**

看護師（別表 3）：専門分野Ⅱ 老年看護学

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター（VPL-FWZ60）	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ（P-100）	1	講義用資料投影